No.237
昭和51年3月11日

広報かつやま

編集と発行　福井県勝山市総務課
911 福井県勝山市元町1丁目1番1号

人のうごき（51.2.1現在）

男	15,597人
女	16,543人
計	32,140人
世帯数	7,732

（住民基本台帳登録人口）

平泉寺の石仏群
大半が戦国時代の作

文化財の宝庫といわれる平泉寺町の石仏群第一次調査の結果がこの程、福井県朝倉遺跡研究所の水藤真文化財調査員の手でまとめられました。平泉寺共同墓地の石仏、石塔五百六十二点を一つ一つ写真に撮っての詳しい調査で、県内で朝倉遺跡石仏群と並ぶ重要な資料。大半が戦国時代のもので僧のために建てられたのが特徴だということです。

五輪塔など五六一点も
一乗谷に匹敵する資料

市教育委員会は五十年十月に平泉寺共同墓地を市文化財（史跡）に指定しました。同墓地には石仏、石塔など石造美術として極めて価値の高いものが多く詳しい調査を県朝倉遺跡研究所の水藤文化財調査員に依頼。同調査員は市文化財関係者ら九人と十月いっぱいかけて、墓地内に散在している多くの石仏群のうち、安土桃山時代以前のものを選び、一つ一つ大きさや特徴を調べると同時に写真に撮り番号をつけました。

その後分類、材質検査などを行い、二月五日市民会館で文化財関係者に平泉寺石仏群第一次調査の報告会を開きました。

報告された資料によると、十六世紀以前の石仏、石塔は五百点を超え、県内でも指折りの石仏群であることが確認されました。分類別では五輪塔が多く、宝きょう印塔と呼ばれる形のものとともに全体の八割を占めています。石仏は百体程で地蔵、観音、阿弥陀（あみだ）の三種類があります。

石塔類は死者の墓で、一方石仏は追悼供養のために建てられたらしいという。材質は凝灰岩で軟らかく彫刻するのにはよいが、半面風化しやすく破損が目立ちます。一乗谷の朝倉遺跡と同じく福井市足羽山の笏（しゃく）谷石が使われた可能性が強い。

大きさは石塔で八十㌢―一㍍まで、石仏は高さ三十―四十㌢資料には縦、横、高さ、くぼみの深さまで念入りに計測されています。刻まれている文字が判別できるものが約六十点。これらの文字から年代がわかるのは古いもので永正十二年（一五一五年）で大半が天文年間（一五三〇年代）で戦国時代の中―後期に当たっています。しかし、中には南北朝時代にさかのぼると推定されるものもあるそうですだれを弔ったものかという点では約八割が寺院の僧のものであり俗人のものは少ない。一乗谷の朝倉石仏群の場合俗人の方が多く僧のものは一割に満たなかったのに比べ対照的です。

また、五輪塔に刻まれている印は平泉寺のは、金剛界大日如来の種子であり、朝倉のは胎蔵界大日如来の種子と好対照になっています。平泉寺は養老年間に泰澄大師が開いたといわれ、最盛期の十五、十六世紀には六千坊あったと伝えられています天正二年（一五七四年）一向一揆（き）勢との宗教戦争に敗れすべてを焼き払われてしまいました。それだけに文献や資料が残っておらず、今回の石仏群の調査資料は貴重なものです。

こんごも白山神社やその周辺に点在する石仏の調査が行われることになっています。調査をまとめた水藤調査員は「南北朝戦国時代にかけて越の都として栄えた平泉寺は、資料が乏しく歴史的に空白部分が多い。石仏調査を契機に当時の僧の権力、宗教観がはっきりすれば、福井の歴史に新しい一ページが記されると思う。まだ墓地以外にも石仏が点在しているので市は保護と調査に万全を期してほしいと話しています。

16世紀前期の作といわれる石仏と五輪塔

"太鼓と炎の祭典"に
五万人が浮かれる
―作りものにロッキードも登場―

雪にとざされた奥越に春の訪れを告げる"太鼓と炎の祭典"勝山左義長まつりは、二月二十四日、二十五日の両日行われ、近年にないにぎわいを見せ、ドッと五万人（市商工観光課発表）の人々が繰り出しました。

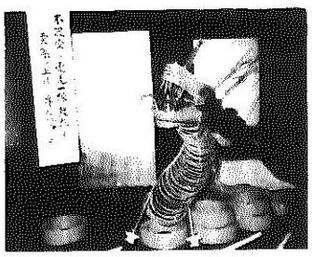
二十三日降り出した雪は二十四日からりと晴れあがり、各町内の通りには三色の短冊が春風にゆれ、辻々に建てられた九基のやぐらから左義長ばやしが流れ町を祭一色にしました。

恒例の作りものコンクールには六つの区が参加、十支にちなんだものや、今話題のロッキード事件、空前のヒットを続けている"およげ、たいやきくん"をテーマに創意工夫をこらした作りものに道ゆく人々は足を止め、その表現力に感心していました。

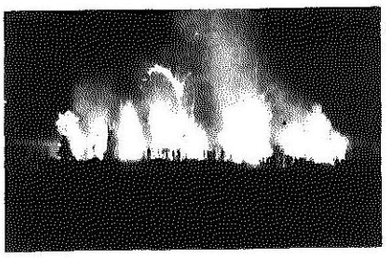
二日目の二十五日は快晴に恵まれ、テレビ中継車や新聞社のヘリコプターの祝賀訪問もあって、目抜き通りは人、人の波。また屋台店もこれまでになく五十数店が軒を並べ、特にヒット曲を流しながら売る"たいやき"には列が出来る程の繁盛ぶりでした。

恒例の子供ばやしコンクールには十子ども会が参加。日頃練習した技を披露、下後区子ども会が七回連続市長賞を獲得しました。夜になって祭りは一段と盛りあがり、午後十時太鼓の音は消え人々は"どんど焼き"の行われる九頭竜河原へと移動、十時半花火を合図に十一基の松かざりが一斉に点火され、どんどの炎は凍る夜空を赤々と照らし、人々は口々に五穀豊穣、鎮火、無病息災を祈り、三百有余年の伝統を誇る左義長まつりのフィナーレを満喫していました。ことしは特に写真愛好家が多く訪れ、盛んにシャッターを切っているのが目立ちました。

子どもばやしコンクール（中央通りで）



市長賞になった中後区の作りもの＝電線の竜



夜空をこがすどんど焼

《コンクールの結果》

■作りものコンクール（第二十七回）

市長賞　中後区（北陸電力）
商工会議所会頭賞　立川区　福井新聞社賞　上袋田区　努力賞　下袋田区　郡区　下後区

■子どもばやしコンクール（第七回）

市長賞　下後子ども会、商工会議所会頭賞　上後子ども会、観光協会長賞　下長渕子ども会　中日新聞社賞　芳野子ども会、左義長ばやし保存会長賞　立川子ども会、勝山地区区長会長賞　下袋田子ども会、子ども会育成協議会長賞　中後子ども会、努力賞　上長渕子ども会、郡子ども会、上袋田子ども会

シートベルトを着用しましょう

三月十日から十日間、全県的にシートベルト着用推進運動が展開されます。

現在運転されている全車両の八八％はシートベルトが装備されていますが、その利用率は大変低く高速道路では約九％、一般道路で約三％です。事故発生からみても負傷者のほとんどがシートベルトを着用していなかったことからケガを大きくしています。

もしシートベルトを着用していたならば被害を防止し、あるいは軽減できたと考えられる事故が多くみうけられます。

勝山市でも、昨年七月荒土町松ヶ崎で発生した事故で、車が道路端の電柱に激突、そのはずみでわきの水田に転落したのですが、幸いにシートベルトを着用していたため軽いケガですんだ事例もあります。

本人の話によると「一度シートベルトでもつけてみようかな――」という軽い気持だったそうです。シートベルトを着用していたことで助ったという例は県下でも数多くあります。

そこで車を運転する人も、また同乗者も安全を守るため、最も効果的かつ簡便な方法であるシートベルトを着用する習慣を身につけましょう。

●スローガン
"さあ発車、ベルトをしめて気をしめて"

もう一度捨てる手もとに工夫の目

便利になります 水道料金は口座振替で

四月分から実施

市の上水道を利用されている家庭へは毎月水道料金の集金に伺っています。しかし、留守などの都合で集金できない場合が多くあります。このような家庭の方にはご面倒でも市の窓口か金融機関へ直接納付書を持参いただき料金を納めてもらう方法をとってきましたが、昭和五十一年四月分から電話料金や電気料金のように、水道料金の納入も預金口座振替制度が実施されることになり、大変便利になります。この制度をご利用ください。

■この仕組みは、毎月の水道料金の納付書を直接金融機関へ送付します。金融機関はあなたに変って、お宅の預金口座から水道料金を市水道事業会計の口座へ振替えられます。預金口座は当座預金、普通預金のいずれでも利用できます。なお口座のない方は金融機関へ申し出ればすぐできます。また領収書が必要な方はその旨申し入れておけば金融機関から届けられます。

■この口座振替を取り扱う金融機関は次のとおりです。

福井銀行勝山支店
福井銀行南支店
北陸銀行勝山支店
福井相互銀行勝山支店
越前信用金庫勝山支店
越前信用金庫本町支店

■申し込みは三月十日から受付けます。金融機関、水道課にあります口座振替申込書および口座振替依頼書に所定事項を記入押印し、五十円の収入印紙をはって提出してください。（印鑑は金融機関へ届出のものを使用してください。なお五十年度の水道料金領収書も提示ください手数料は無料です。

お問い合わせは水道課または金融機関へ。

水道料金等の徴収委託者（集金人）が変りました

三月五日からいままでの委託者（鳥山円忠さん）が都合でやめられたので、新しく前川茂雄さん（元町二丁目五番三九号）が委託者になりましたからお知らせします。

ネパールの友達救おう 児童らが古切手集め

鹿谷小　一万四千枚を初郵送

集まった古切手を小包にする児童ら

使い古した切手を集め医療品に換え結核などの伝染病に悩むネパールの友だちを救おうと鹿谷小学校（笠川栄校長、二百二十七人）の児童らが自発的に、"使用済み切手運動"を繰り広げ、この程一万四千枚を初郵送しました。これからも善意の輪を広げ続けていこうと張り切っています。

この運動のリーダーは、同校五年二組中村美智代さん（一）＝同町保田出村＝ら六人。中村さんらは昨年十一月国語の授業で"ネパールにかがやく"を勉強、ネパールで結核と闘う岩村博さんのことを習い、同じ年ごろの友達が結核で苦しんでいることを知り、私たちも何かしてあげられないかと考えていました。

そのうち古切手四百枚でBCG一本がもらえることがわかり全児童に校内放送で「使用済み切手運動」を呼びかけ、古切手を入れる箱を玄関や教室に設けました。この善意の輪は児童から家庭と広がり、父母から大量の古切手が寄せられ一月末には九千枚を突破。このことが新聞で報道され、県内の各地からもぞくぞく古切手が届けられるようになり、一万四千枚にもなりました。

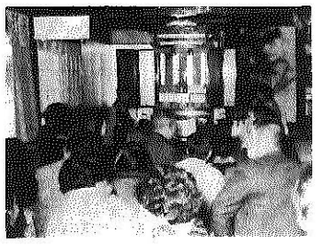
初め一万枚を目標にしていた中村さんらは大喜び。この程日本キリスト教海外医療協力隊大阪支部（大阪市東区）に手紙を添えて郵送しました。

手紙には「私たちが一生懸命集めた切手です。これでかわいそうなネパールの友だちを恐ろしい病気から救ってください」と書きました。中村さんは「私たちと同じ友達が、お金もなく病気の治療もできずに困っているとでもかわいそうなので少しでも温い手を差しのべたいと思い学校の子に呼びかけた。この運動が学校だけでなく町の人やほかの町の人からもたくさんの古切手が集ってうれしい。これからも続けるので応援してください」と呼びかけています。

笠川校長や担任の森下清澄教諭（四）は「児童が自主的にこの運動を広げ活動した。現代っ子は身勝手だといわれるが、こうしたやさしい心を子どもは持ち続けていることはとてもうれしいことだ。国語の授業が発端となったことを知り感激している。この子等の温かいおもいやりを見守ってやりたい」とうれしさをかくせずに話していました。

滝波のお面様まつり

――ことしは豊作と喜ぶ



村岡町滝波の三百年の伝統をもつ「お面様まつり」が二月十一日、区長の松山正治さん（五二）宅で古式ゆかしく行われました。お面様の御開帳は年に一度、お面の笑顔で豊作を占なうことから区民や縁者ら二百人が区長宅を訪れ「ことしは豊作じゃ、お面様がよう笑ろうてなはる」と喜び、家内安全、無病息災を祈願しました。

このまつりは、昭和四十四年市文化財（民俗資料）に指定されている珍しい民俗行事で"仮面信仰"の一つです。この日は区長宅に設けられたずし（厨子）にかみしも装束の御守り役一人が滝波白山神社から「お面」を運びずしに安置しました。

お面様は　黒尉　翁　父尉の三面で鎌倉初期の頃の作といわれており、海山の幸と神酒を供え御開帳され、参詣者は神酒、おしとぎ（白米をついて練りあげたもの）をいただき豊穣、無病息災を祈り午後二時ずしの扉がしめられ、えぼし（烏帽子）の儀が行われます。えぼしの儀とは新しく戸主となったもの、区に新しく入った者が披露されえぼし帳に記入されるまつりごとで古くから続けられています。こうして年に一度の御開帳を終りました。

写真は滝波のお面様まつり

折り紙遊びで豊かな心をと

講習会開く

熱心に折り紙を習う保母さんら

折り紙遊びで情緒豊かな子どもを育てようとこの程、市民会館で折り紙講習が開かれ、公私立保育所の保母さんや幼稚園の先生七十人が参加し、色紙でウサギや果物など十五種類の折り方を勉強しました。

幼児期の知能の発達に指先が大きな役割を果していることを説明、折り紙遊びの中で子どもの情緒を高め仲間意識を養うことのできることを強調したあと折り方や作ったものでの遊び方を実習しました。

赤や青の色紙が、津村さんの手で折られるとたちまちウサギやウシの動物になったり、カキやクリなどに変身。参加した保母さんは目を丸くしながら、折り方のマスターに一生懸命でした。

十五種類ほど作り方を習った後は、遊び方を講習、ウシやウマを並べて牧場にしたり、かわいい童話の世界を再現、子どもたちの喜ぶのを描きながら、これからの保育に役立てたいと張り切っていました。

講師には大阪成蹊女子短大教授の津村節津子さんを招きました。津村さんは幼児教育四十年の大ベテラン。幼児の発達に折り紙遊びを取り入れ成果をあげた人。

奨学金貸与生募集

申し込みは3月31日まで

昭和五十一年度の市奨学資金貸与生を募集しています。大学等に進学する（または在学中）人で、家計の都合で資金を借りたいと希望される方は早目に市教育委員会庶務課へ申し込んでください。

父兄、または先生が直接庶務課へ必要な用紙を取りにおいでください。遠隔地の方は申し込みにより用紙を送ります。申し込みは三月三十一日までです。

奨学資金は次の金額の範囲内で貸付けます。

奨学生の区分	貸付月額
高等学校の生徒	3,000円
高等専門学校の生徒	3,000円
大学生 自宅通学	5,000円
大学生 自宅外通学	8,000円
大学院生	10,000円

昭和51年度分の固定資産課税台帳の縦覧期間の変更について

地方税法第四一五条第一項ただし書の規定により、昭和五十一年度分に限り、固定資産課税台帳の縦覧期間を次のとおり変更いたしましたのでお知らせします。

◎縦覧期間　昭和五十一年四月十日から三十日まで

◎縦覧場所　市役所税務課

原付自転車・耕耘機の廃棄手続は3月31日まで

みなさんの家庭に使用していない原動機付自転車またはトレーラのない耕耘機はありませんか。

原動機付自転車、耕耘機（トレーラ付）の課税は、四月一日現在の所有者に一年分課税されますから、廃車を希望される方は三月三十一日までに市役所市民課窓口で必ず手続きをすませてください。

幸せを明日につなぐ火の始末

28日から春の火災予防運動

春先は北陸特有のフェーン現象がおこり火災の発生しやすい季節になります。市内でもプロパンガスの爆発事故があり、松岡町では織物工場や住宅が十三棟も全焼するといった大火がありました。火事ほど恐ろしいものはありません。

三月二十八日から四月十日まで春の火災予防運動が展開されます。それぞれが防火意識を高め、火事を出さないよう次のことをしっかり守りましょう。

◇寝タバコ、タバコの投げ捨て放置は絶対しない。

◇老人、子ども、病人は出入口に近い部屋で寝かせる。

◇プロパンガスのボンベ、配管や器具を常に点検し、ガスもれを防ぐ。

◇屋外の雪囲いなど燃えやすいものを取り除き、整理整とんする。

◇外出するとき、寝る前には必ず火の元（ガス、電気、風呂場）の点検をし、安全を確かめる。

留守家庭児童会を開設します

保護者が午後五時ごろまで不在の家庭の児童を対象に留守家庭児童会を開設します。

開設場所は元の市役所、開設時間は下校時から五時半まで、対象は小学校在学の一年生から三年生まで、経費は一か月二千五百円です。希望者は幼稚園、小学校、市教委へお尋ねください。